

助成活動実績報告書

企画名	里山再生プロジェクト
団体名	あかいわ美土里の和

①活動の目的について

「赤磐市の自然環境を永続的に保持し、人と自然とが共存する循環型のまちづくり」を理念に生物多様性を維持する里山づくりをみんなで協力して活動することを目的とする。

②内容について（学習会、集会などは開催日や内容、参加者数など。設備・物品購入などの発注、納品、竣工、支払いなどの案件に関わる事実の掲載）

- * 5月25日（土）第3回自然観察会 参加者25名（大人20名、子供5名）
★整備の結果どのような動植物が生息するようになったかを継続調査する。自然の大切さを学ぶ。
- * 7月28日（日）自然を食する集い 参加者41名（大人26名、子供15名）
★自分たちで採取した山菜をてんぷら等にして食する。子供たちに飯ごう炊飯を体験させる。
- * 10月20日（日）里山でスケッチの集い 参加者15名（大人9名、子供6名）
★雨のため主催者が現地で集めた草花等を良く観察しながら絵にすることで自然を深く観察する。
- * 10月26（土）・27日（日）赤磐市桜が丘いきいき交流センター文化祭 展示&ワークショップ
★13年度行事の作品と活動報告を展示。ワークショップではリーフクラフトや竹笛、樹木名札作りを実施した。多くの市民に里山の意義と楽しさをアピールすることができた。
- * 11月17日（日）第4回自然観察会 参加者12名（大人12名、子供0名）
★今回は新たに整備した直後のエリアを観察した。今後の変化を追跡調査する予定。
この日は学校の学習発表会と重なり子供の参加が無かった。
- * 毎月第3日曜日を定例里山整備活動の日と定め、整備後のメンテナンスと新規エリアの整備を行っている。
- * 当会の助成対象外活動
★県の助成対象活動として2回一般公募の整備を実施、多くの市民の参加を呼び掛けている。
★ツリーライミングを赤磐市内で初めて実施、定員の45名を上回る申し込みがあり、会として初めてお断りするほどの盛況であった。
★5月30日地元桜が丘保育園が磐山で遠足を実施、会員が道案内の手助けをした。
★12月7日桜が丘保育園主催の子育て支援の集いで白石会長がワークショップの講師を務め、地元との交流を深めている。

③この活動によって達成された成果

※自然観察会によって達成された成果

- ①昨年度のような劇的な成果は無かったが、山林で着実に草花がよみがえりつつあることが確認された。子供のリピーターがあり、自然への関心が定着しつつあることが大きな成果だと思う。
- ②秋の調査では棚田の跡と炭焼き小屋の跡が確認された。この地区が団地が造成されるまでは生活の場としての里山であったことが実証された。
- ③このエリアには農業に利用されていた溪流があり、今もきれいな水が流れている。昔は蛍もいたという話もある。蛍の復活を！との夢もある。

※磐山でのワークショップによって達成された成果

- ①7月の自然を食する集いでは、最近ではほとんど食することが無くなった山菜を採取し、調理した。子供や若い両親たちは予想外の美味しさに歓声を挙げていた。子供たちは自分たちで飯ごうで炊いたご飯に感激していた。昔の知恵としての自然の恵みを実感し、里山への関心を深める成果があった。
- ②10月里山でスケッチの集いは雨のため集会所で実施した。室内の為に子供が退屈しないかと心配したが、全員最後まで頑張った。自然の姿をよく観察し、大人以上に可能性を暗示する才能と忍耐力を発揮した。

以上から里山が自然教育だけでなく社会教育の場になりえることを確信する成果があった。

※赤磐市桜が丘いきいき交流センター文化祭参加によって達成された成果

- ①ワークショップに子供から大人までの参加があった。親子の参加が目立ち好評であった。
- ②作品・活動写真展示を見て、「私も次回是非参加したい」との回答を多数得た。当会と自然の恵みを充分アピールすることができた。12月の里山整備に3家族が参加する成果があった。
- ③美土里の和オリジナルの“磐山健康茶”を試飲、多くの方から好評を得、磐山の恵みを広く知ってもらおう効果があった。

※里山整備作業の成果<<活動拠点の里山を“磐山”と呼ぶ。(赤磐市の磐と頂上に巨石がある理由)>>

- ①月例の里山整備(会員中心)と一般公募の里山整備2回(3日間)で延べ260余名が参加し、4ルートに登山道と尾根筋を整備することができた。
- ②昨年保育園から磐山遠足を取り入れたいとの申し出があったが、5月に実現した。
- ③磐山は元来、保健保安林であるが荒れてしまっていてその役を果たしていなかったが、いやし空間並びに自然学習の場として着実に成果を上げることができた。
- ④環境保全に寄与する効果があると思っている。

④今後の計画・展望について

- #### ※今後の計画
- ①一般公募による年2回の里山整備作業の継続
 - ②会員による随時の里山整備作業
 - ③一般公募による年2回以上の自然観察会の継続
 - ④磐山でのワークショップ及び展示会場・シンポジウムの継続開催
 - ④町内会や他団体との交流を深める。

以上目新しさは無いが手作りで地道に回を重ねていく。

- #### ※展望について
- ①活動を通じ当会の存在が広く知れ渡り、市民権を得つつある。
 - ②地域との連携で地元保育園等との交流が進んでいる。
 - ③HPの充実で地域外からの参加が増加している。
 - ④隣接地に会の意見を取り入れた児童公園設置等行政の後押しが進んでいる。

以上の成果により地域住民が森林に親しみ、里山を大切に守る機運が高まりつつある。特に若いファミリーと保育士の参加で若返り、将来の展望が明るい。

⑤写真等参考資料添付 デジタルカメラの場合、データもご提出ください。

H25 年度助成対象活動

I : 第3回自然観察会 (H25年5月25日)



講師の説明風景

II : 自然を食する集い (H25年7月28日)



飯ごう炊飯風景

試食風景

III : スケッチ大会 (H24年7月22日)



講師の指導風景



親子で参加



完成例

VI : 桜が丘いきいき交流センター文化祭 (H25年10月26日・27日)



竹笛・樹木名札のワークショップ風景



展示会場風景



スケッチ作品展示

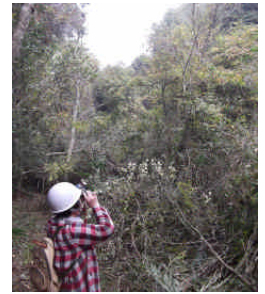
V : 第4回自然観察会 (H25年11月17日)



棚田の跡

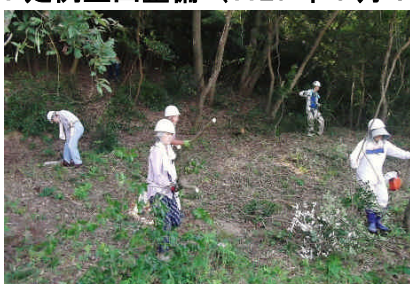


紫シメジの群生



探鳥風景

VI : 定例里山整備 (H25年8月18日・H26年1月19日)



左：
8月の整備
作業風景



左：
1月の整備
作業風景